

栗駒山の火山活動解説資料（平成 31 年 4 月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

大柳監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山周辺では、「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

・地殻変動の状況（図 3、図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 栗駒山 山頂周辺の状況（4 月 29 日）

・大柳監視カメラ（山頂の南東約 20km）の映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（令和元年 5 月分）は令和元年 6 月 10 日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。

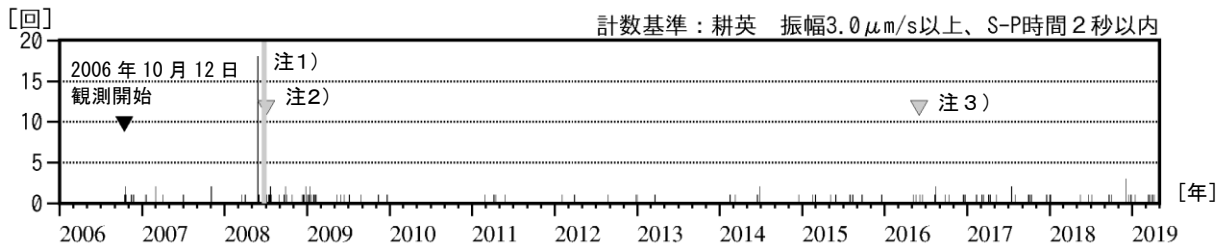


図 2 栗駒山 日別地震回数（2006 年 10 月～2019 年 4 月）

- ・基準観測点の変更は次のとおりです。
観測開始 2006 年 10 月 12 日～旧耕英観測点
- 注 1) 2008 年 6 月 14 日～7 月 2 日 18 時（図の灰色部分）まで「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能
- 注 2) 2008 年 7 月 2 日～小安観測点（2010 年 10 月 8 日まで）及び広域地震観測網
- 注 3) 2016 年 6 月 1 日～耕英観測点

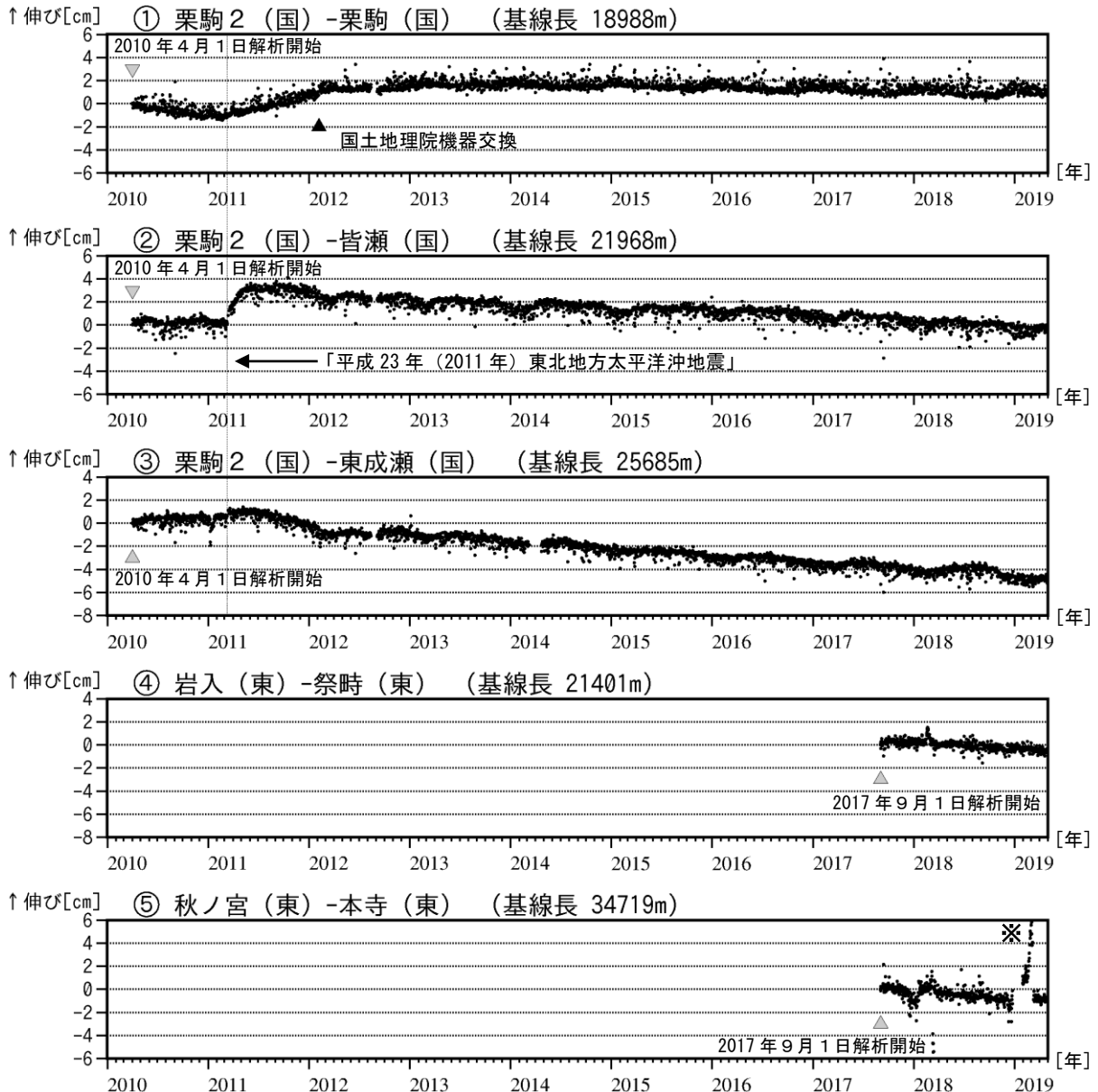


図 3 栗駒山 GNSS 基線長変化図（2010 年 4 月～2019 年 4 月）

- ・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑤は図 5 の GNSS 基線①～⑤に対応しています。
- ・(国) は国土地理院、(東) は東北大学の観測点を示します。
- ※秋ノ宮 (東) 観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。

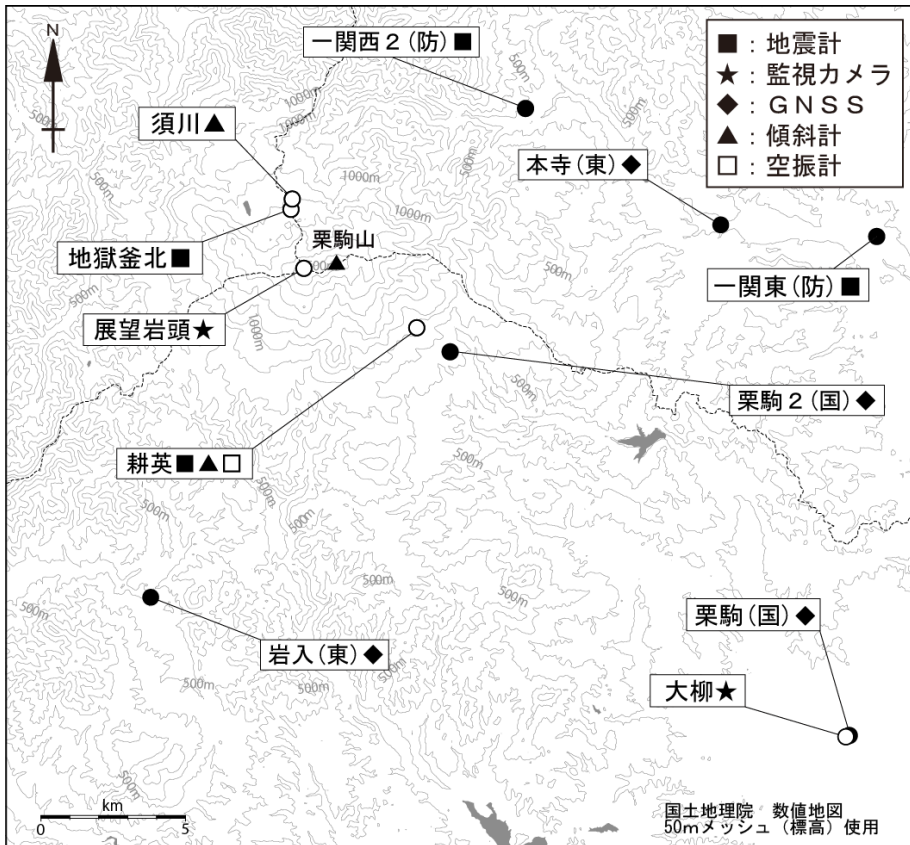


図 4 栗駒山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院 (東)：東北大学 (防)：防災科学技術研究所

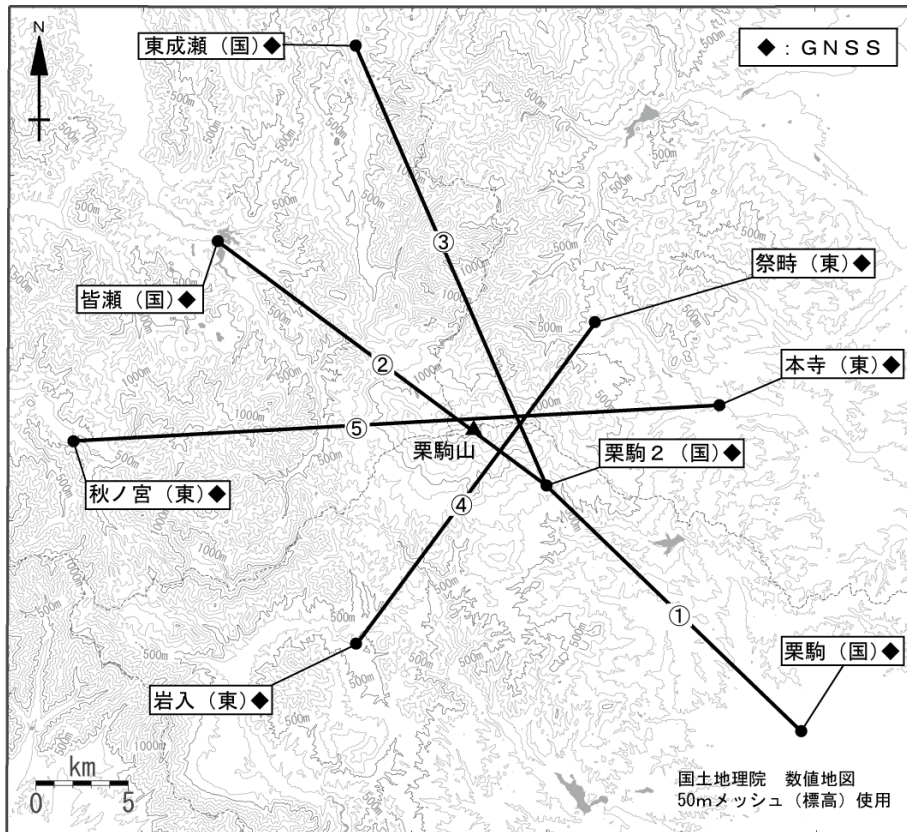


図 5 栗駒山 GNSS 観測基線図

小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院 (東)：東北大学